

## 令和5年3月田辺市長定例記者会見（市長挨拶説明・コメント）

第33回南方熊楠賞について発表いたします。

私ども田辺市民の誇りである南方熊楠翁の偉業を称え、田辺市と南方熊楠顕彰会が平成2年に制定しました南方熊楠賞も、本日ここに第33回南方熊楠賞受賞者を発表する運びとなりました。

回を重ねるにつれて、本賞は「知の巨人」南方熊楠翁の名を冠した賞にふさわしいものに育ってきた、と各界から高いご評価をいただいております。

ご存じのように南方熊楠賞は、翁の研究対象であった、民俗学及び博物学関係の分野において国内外を問わず顕著な業績のあった研究者を、人文部門、自然科学部門から毎年交互に選考し、賞状・トロフィー・副賞をお贈りしております。

今回の南方熊楠賞は、自然科学の部より賞を贈ることとし、選考委員会において慎重なご審議をいただいた結果、東京大学大学院教授で、植物学がご専門の「塚谷 裕一（つかや ひろかず）」先生に南方熊楠賞をお贈りすることに決定いたしました。

選考委員会においても、「東南アジアの熱帯雨林をはじめとする国内外でのフィールドワークを通じ、1つの新属、30種の新種を含む44種の植物の新分類群を命名してきた。さらに、分子レベルの植物学研究においても、葉の形態が形づくられる分子遺伝学的仕組みのルールをモデル植物を使って明らかにし、葉の形態形成における遺伝子経路の解明において世界をリードする研究成果を多く上げてきた。これらの成果は現代のナチュラルヒストリーとして高く評価される業績であり、またその研究成果や植物誌を広く一般に普及する精力的な執筆活動は熊楠翁に通ずる」と評価されていることから、第33回南方熊楠賞にふさわしい受賞者であると、主催者としても喜んでいる次第です。

改めて、塚谷先生に、心よりお慶びを申し上げます。

なお、受賞者の塚谷先生並びに授賞式の詳細につきましては、このあと事務局から説明いたします。

最後に、本賞運営に際しまして、選考委員の先生方をはじめ関係各位のご尽力に深く感謝申し上げますとともに、今後とも、本賞が全国的、国際的な学術・文化の振興に一層寄与いたしますことを、心から願っております。